

平成27年度第1回山梨県スポーツ推進審議会
会議録

1 日時 平成28年3月22日(火)15時00分～16時40分

2 場所 山梨県庁防災新館 4階 406会議室

3 出席者

(1) 委員 12名

浅利そのみ、飯田忠子、岡田恭子、岡部和子、川上琴美、斉藤正人、仙洞田一郎、
田畑雅宏、土屋直、野呂瀬秀

(2) 教育委員会事務局

スポーツ健康課長、総括課長補佐、主幹、担当職員9名

4 傍聴者等の数 なし

5 会議次第

(1) 開会

(2) 会長及び副会長選出

(3) 会長あいさつ

(4) 議事

(5) 閉会

6 議題

[審議事項]

スポーツ団体への補助について (資料1)

[報告事項]

山梨県スポーツ推進プログラムの進捗について (資料2-1)

) 数値目標について (資料2-2)

) H28事業の概要について (資料2-3)

県有スポーツ施設整備の基本方針について (資料3)

国民体育大会関東ブロック大会の開催について (資料4)

冬季国体、高校総体スケート競技会の開催について (資料5)

7 議事の概要

スポーツ団体への補助について、審議する。

(事務局)

スポーツ団体への補助について、資料1に基づき、説明。

(委員)

前年度に比べ、H28年度は予算額が増減している理由は何か。

(事務局)

運営費の補助金部分については、人件費を除き10%のシーリングが掛かっている。

国体参加競技団体への補助については、開催地の変更に伴う旅費などの減額。特に、今年度については、関東ブロック大会が本県で開催されることに伴い変更となっている。

中高競技力向上、学校体育大会等への補助についても、派遣場所による旅費などの変更が主な理由です。

(委員)

8年に1度回ってくる国体関東ブロック大会が、来年度山梨県で開催される。この関ブロに伴い、設備の補充をして欲しい。かいじ国体の際に整備され、老朽化したとか、ルールが変わったとかある。10%シーリングでは困る。

(事務局)

ここで説明させていただいたものは、大会への派遣費の部分であり、大会の運営に掛かる経費は別に計上している。

競技団体から要望いただいているものについて、全て要望どおりとは行かないが、必要な整備は行うこととしている。

(委員)

2020年の東京オリパラや2019年のラグビーワールドカップに向け、スポーツ機運を高めていかなければならないと考えているが、それに対する補助はどこに交付されるのか。

(事務局)

東京オリパラなどを視野に入れた選手強化については、県の体育協会を通じて選手育

成を図るということで、競技力向上事業の中に含まれている。

県内の競技団体を取りまとめているのが県体育協会なので、全体のバランスなどを把握しているので、県体育協会を通じ、補助している。

(委員)

いろいろな種目の普及と言う観点から、県の体育協会に、オリパラの選手を呼んで、気運を高めるような事業は行っていないのかとの質問をしたところ、H28年度の事業にはないとの答えだった。オリンピックやパラリピアンによる事業が県では何かないのか。

(事務局)

オリンピックを活用し、運動のきっかけ作りとしての事業を、H27年度から県でも取り組んでいる。

H27.8には、山梨学院で柔道の山口香さんを招いた講演会の開催や、H27.11には、小瀬スポーツ公園でオリンピックを含むトップアスリートにより、子ども達に運動の楽しさを体験してもらうイベントを開催した。

こういった事業は、来年度も継続して実施していくが、来年度は特に、東京オリパラに出場が見込まれる選手を招いて、子ども達の指導に当たってもらうイベントを考えている。こういったことにより、東京オリパラを目指している選手の支援にも繋がると考えている。

(委員)

H27年度に、地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト事業というものを県教育委員会が示している。その理念を確認しながら、進めていくことが必要。

(委員)

東京オリパラの事前合宿が山梨で行われる見通しはどうか。いつごろまでに、目途が立つのか。

(事務局)

現在、各競技団体は、リオのオリパラに向けての取り組みをしており、東京オリパラについては、リオが終わってからということになる。東京オリパラの大会組織委員もリオが終わってから具体的な活動をすることとしており、そのためのデータの整理などの準備をしているところです。

(委員)

1日でも早く、1競技ではなく複数の競技が誘致できると、オリンピックを目指す若者達の励みになると思う。

(議長)

スポーツ団体への補助については、了承するということで、よろしいでしょうか。

(委員)

異議なし。

山梨県スポーツ推進プログラムの進捗について、報告する。

(事務局)

山梨県スポーツ推進プログラムの進捗について、資料2 - 1から2 - 3に基づき、説明。

(委員)

数値目標の1から5について、指標の元となる数値は、何から持ってきているのか。

(事務局)

1については、山梨県新体力テストの健康実態調査による集計。全ての公立小中高等学校の児童・生徒を対象としている。

2についても、山梨新体力テストの健康実態調査による集計。

3については、県政モニター約400人に配布し、約300人から回答があったものの集計。

4と5については、市町村等からの回答結果。

(委員)

各競技団体が、国体等に向け練習する際の練習会場への減免措置はあるのか。

(事務局)

減免措置については、年度当初に申請していただいております、これをもとに、減免措置を実施している。

県有スポーツ施設整備の基本方針について、報告する。

(事務局)

県有スポーツ施設整備の基本方針について、資料3に基づき、説明。

(委員)

中学校の大会で夏休みに行われるものや関東大会などで、7月から8月の暑い時期に体育館にて実施される競技がある。体育館への空調の設置を検討できないか。昔と違い、暑さによる、子ども達の健康面への心配がある。

(事務局)

空調の設置されていない県の緑が丘スポーツ公園の体育館については、財政状況や優先度などから見送られている。また、古い体育館なので、構造的にも設置することは難しい。

我々としても承知はしており、選手の安全性に関わるものなので財政当局とは折衝しているが、設置には至っていない。

(委員)

来年度は本県で関プロも実施されるし、次期国体に合わせ、空調の整備を検討するとの記載が欲しかった。整備が難しいのであれば、せめて、来年度の関プロの開催時には、それに代わるものを整備するとの記載が欲しかった。

選手が怪我をしないように、また、他県では設置しているので、選手が肩身の狭い思いをしないように、何らかの対応を考えて欲しい。

(事務局)

関東では、栃木県の体育館には空調は設置されていないと聞いている。関プロに当たり、仮設での対応も検討したが、経費の面等から難しかった。

基本方針への追加の記載等は、教育委員会だけでなく、県全体として策定したもので、追加等を行うことは難しい。

緑が丘スポーツ公園は甲府市への移管の検討がされており、移管の方向が見えてくれば、何らかの動きがあるかもしれない。

(委員)

北杜市のビーチバレーコートは、地域の特性を生かし、地域でできることは、率先して、先を読んで、北杜市が来年度整備することとしている。

また、過去に、他の体育館で実施していた大会が、夏場の季候がいいということで白

州の体育館で開催されたことがあり、好評を得た。

地域を生かしながら、地域で、生涯スポーツ、市民スポーツやキャリアスポーツを実施していくことが必要。県に全てやってもらうということだけでは、スポーツの振興は図れないと思う。

施設の維持管理は、地域が行っていくものなので、ただお金をかけるだけではなく、市民が機器の管理ができて、地域が守れるような施設を推進していくことが大事。

アスリートのためだけに施設を作るのではなく、将来、施設をどうしていくかを考えないと、スポーツ振興はないと思う。

(事務局)

基本方針の中のビーチバレーコートの整備については、まさにそのとおりで、地域の特性を踏まえ、地域で取り組んでいるものは地域で進めてもらうということ。

また、富士北麓公園の整備についても、ラグビーに力を入れているという地域の特性を生かし、整備を進めていこうというもの。

国民体育大会関東ブロック大会の開催について、報告する。

(事務局)

国民体育大会関東ブロック大会の開催について、資料4に基づき、説明。

冬季国体、高校総体スケート競技会の開催について、報告する。

(事務局)

冬季国体、高校総体スケート競技会の開催について、資料5に基づき、説明。

(以上)